

# くらしの中の和と洋ブックを作ろう

～百科事典の使い方を知ろう～

4年 国語  
「くらしの中の和と洋」  
利用指導・資料の活用

ねらい

- くらしの中の「和」と「洋」について調べたことを要約や引用を使ってまとめ、紹介カードを作る。(単元)
- 百科事典の種類や構成・使い方を知り、百科事典を活用することができる。(本時)

学習展開 ・指導内容 □児童の活動

## ①百科事典に出会う

- ・百科・辞典ではない事典の意味

□百科事典をつくった人の思いを知る

(かこさとし 監修のことは)

出典「総合百科事典ポプラディア」(2002年)

## ②百科事典を見て使い方を考える

- ・百科事典の構成

1～10巻・11巻「索引」・12巻「学習資料」

12+1巻「補遺」

13巻で1冊の本!索引だけで1冊分!

- ・誰もが分かるように並べられている→五十音順

順番に並べられている。国語辞典と似ている!

言葉は変わる!

【新しく掲載された言葉】災害対策基本法(2011年版に掲載)

補遺→タブレットPC

【説明が変わっていく言葉】電話(2002年版と2011年版を比較)

## ③百科事典で調べる

- ・大きく厚い本の持ち方・扱い方(学校司書)

本の開き方・持ち方・返し方

課題 ワークシートに書かれた言葉を調べ、

3行程度に要約してまとめる。

## ④調べたことを発表する。

□ペアで説明し合う。

□良い要約文や驚いた内容を共有する。

みしらべてみよう 4年( )  
しらべたことをまとめて書いておこう。9  
空欄 題(あやさき はやむ)

---

南方 廣福(みなみかた くまぐす)

---

マイケル・ジョージアン

ワークシート

### 授業後の感想

百科事典を使ってどう思いましたか。  
百科事典はとってもたくさんの色々な言葉がのっていてとても便利だなと思いました。補遺とかもとても色々な情報が出ていてとても面白いなと思いました。最近インターネットのウェブページとかで検索すれば、ほとんどの調べたことの情報が出てくるから百科事典がなくなりつつあるのには、百科事典はなくなってもいいかなと思いました。僕は百科事典が好きになりました。

百科事典を使ってどう思いましたか。  
少し言葉をひくのはむずかしいが、たまたまでも色々な言葉が出てきて百科事典はすごくおもしろいと思いました。資料書は、白はたくさんという思いでつくられたというものが多かったわりました。わたしの知らない名前の動物や、それからアニメなどがあることわりました。わたしのひいた、シロガスケラは、体重が170kgもあり、最大で体長34cmあることわりました。また、百科事典は、べんりだと感じました。

百科事典を使ってどう思いましたか。  
百科事典という言葉を知ったのは、あんなにも役に立つし、さしよは百かじてんなんてどうでもいいと思ってたけど、あとからだんだんおもしろくなってきて、それと本は、さつぱつと思っていたけど、さつぱつにならなくて、さつぱつでも、さつぱつかいたら、ページがめけたたのびなってしまうことわかって、よかったです。新しい言葉が出てくるから、ほいほいとさつぱつなこともわかっておもしろかったです。これからも百科事典をたいせつにしていきたいと思っております。

## ◆司書教諭と学校司書の関わり

<司書教諭>

- 担任と授業と時間設定について話し合う。
- 担任からの情報をもとに百科事典に関する指導内容を調整決定、共有する。
- 資料とワークシートを準備し、授業をする。

<学校司書>

- 担任からの情報をもとに、「くらしの中の和と洋」に関する紹介文を書くための資料となる本を集める。
- 百科事典(2セット)を他校から借りて用意する。

## ★指導のポイント

- ◆他で指導し難い厚く重い本の扱いを押さえる。
- ◆限られた冊数で、一人一人が事典を扱うことができるように、ワークシートの3つの言葉は1冊の事典に乗っているものにして、11種類作った。早くできた児童には、新しいワークシートを渡した。
- ◆人が知識を得るための方法として百科事典があったことや誰もが使いやすい方法が工夫されていることを実感するために、拡散的に知識を得ることの楽しさなど、実際に百科事典を使って調べる経験をしておくことが大切と考えた。

### 資料

「総合百科事典ポプラディア」(2002年)3セット、「総合百科事典ポプラディア プラス1【2005補遺】(2005年)」、「総合百科事典ポプラディア新訂版」(2011年)、「国際理解にやくだつ 日本と世界のちがいを考える本4 世界とくらべる 日本の文化と生活」(ポプラ社)等 35冊